



リッツカールトン バーレーンの正面エントランス。館内に入るとすぐ金属探知機のゲートがあり、厳重な警備がしかれている



レセプションカウンターには湾岸諸国からのアラブ服を着たゲストも多い



ドームから淡い光が注ぐフィットネス「The Sports Club」内にあるスイミングプール

## ザ・リッツカールトン バーレーン ホテル&スパ The Ritz-Carlton, Bahrain Hotel & Spa

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエグゼクティブが「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



「The Ritz-Carlton, Bahrain Hotel & Spa」の壮麗な吹き抜けのエントランスホール。バーレーン屈指の格式を誇るホテルで、多くの国際会議が開催されている



6階のクラブフロアにある専用ラウンジ  
クラブラウンジ前にある、クラブフロア6・7階を結ぶ専用階段



エントランスホールから続くラウンジ「The Lobby Lounge」



豪華なマハラジャの雰囲気を楽しめる本格的インド料理「Nirvena」



ラグジュアリーな雰囲気が漂うエレベーターホール



英国の古き良き伝統が味わえるシガー・ラウンジ「Burlington Club」



クラブフロアに用意された「Club Suite」のリビングルーム。室内はアーバン・コンテンポラリー感覚のデザインで、約65㎡の広さがあるスイートだ



充分な広さを確保したスタイリッシュなバスルーム

リビングから望むベッドルーム

「The Ritz-Carlton, Bahrain Hotel & Spa」はバーレーン屈指の格式を誇るホテルだ。多くの国際会議が開催され、去年2013年の安倍首相バーレーン訪問時の宿泊先ホテルでもあった。建物は当初「Le Royal Meridien, Bahrain」として建設されたため、ファサードをはじめ外観は若干イメージが異なる。2003年にリッツカールトンの一員になると、館内は徹底的にリノベーションが施され、本来の落ち着いた重厚な佇まいに生まれ変わった。近年、広大な敷地内にラグジュアリーなヴィラを配置して、よりリゾート感覚あふれる高級ホテルとなっている。

バーレーンと聞くと、われわれ日本人にはサッカーのイメージが強いが、実は古い歴史を持つ国だ。バーレーンは首都マナーマのあるバーレーン島を含め33の島で構成されている。首都マナーマは古い街並みを残しながら近代化された不思議な街だ。中心地の「バブ・アル・バーレーン」「バーレーン門」をくぐると、活気に溢れたスーク(市場)が広がり、アラビアンナイトの世界にタイムスリップした気分になる。一方、マナーマ湾の海岸線沿いの新市街はドーハほどではないが高層建築が林立している。

リッツカールトン バーレーンはヴィラやスイートを含め245室のゲストルームを擁す大型ホテルだ。館内に入ると壮麗な吹き抜けのエントランスホールがゲストを迎え入れる。筆者にアサインされた部屋は「Club Suite」で、クラブフロアに用意された約65㎡の広さがあるスイートだ。室内はアーバン・コンテンポラリーのデザインで、リビングやバスルームも充分な面積を確保している。館内には九つのレストラン・バーがあり、選ぶのに苦労するくらいだ。お勧めは豪華なマハラジャの雰囲気を楽しめる本格的インド料理「Nirvena」、スタイリッシュなイタリア料理「Primavera」、そしてオールデイダイニングの「La Med」がある。食後はぜひシガー・ラウンジ「Burlington Club」を試していただきたい。英国の古き良き伝統がアラブの地で味わえる。スパの「Ritz-Carlton Spa」やフィットネスの「The Sports Club」ではスパ・セラピーが充実しており、屋内外のスイミングプールやジャグジーも人気だ。

国名であるバーレーンの語源はアラビア語で「海」を意味する「バハール」と、その複数形の語尾変化「レーン」から来ている。リッツカールトン バーレーンはその美しい浜辺に広がる20エーカーの都市型リゾート複合施設と言える。エレガントなヴィラ23棟がビーチ沿いに新設され、より洗練された気品が際立つようになった。

世界のリーディングホテルから厳選  
ホテルジャーナリスト  
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ  
3,000円(本体価格)

www.obtapub.co.jp/worldhotel/



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト  
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健剛代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。